

第 1 回北海道シニアサッカーフェスティバル ～OB 交流戦～

【 開 催 要 項 】

- | | | |
|----|-----------|--|
| 1 | 主 旨 | 北海道におけるシニア年代のサッカー普及を図るため、仲間意識が強いと考えられる高校サッカー部 OBなどを集い、サッカーから離れている人の掘り起し及びサッカー再開のきっかけを作ることを目的とする。 |
| 2 | 名 称 | 第 1 回北海道シニアサッカーフェスティバル ～OB 交流戦～ |
| 3 | 主 催 | 公益財団法人北海道サッカー協会(HKFA) |
| 4 | 主 管 | 北海道シニアサッカー連盟 |
| 5 | 協 力 | - |
| 6 | 期 日 | 2026年10月11日(日) |
| 7 | 会 場 | 浜厚真野原公園サッカー場(人工芝) |
| 8 | 参 加 資 格 | <p>(1) (公財)日本サッカー協会(JFA)のへの選手登録の有無は問わない</p> <p>(2) 50歳以上(1977年(昭和52年4月1日)までに生まれた選手)で構成された単独チームまたは合同チーム。</p> <p>普及枠として1980年(昭和55年4月1日)までに生まれた選手の参加を認める。普及枠の選手数及び同時出場人数に制限は設けない。</p> <p>(3) エントリー選手は1チーム12名以上25名以内とし、JFA未登録選手を複数名含むこと。</p> <p>(4) チームは、小中学校、高校、大学などのサッカー部 OB のほか、地域・チーム・職場等の OB 単位とし、複数の母体による混成チームも認める。</p> <p>(5) エントリー表提出後の追加は認めるが、大会を通して同一チームで参加のこと。</p> |
| 9 | 参 加 チーム 数 | 6チームを予定する。申込数が予定数を超えた場合は、主催者による抽選で参加チームを決定する。 |
| 10 | 競 技 規 則 | <p>(1) 「8人制サッカー競技規則」に準じて、「シニア種8人制サッカー競技規則」で実施する。</p> <p>(2) 競技フィールド(グラウンド状況により、変更する場合がある)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピッチの大きさ:縦 60～70m × 横 40～50m(68m × 50mを基準) ・ ペナルティーエリアの縦:12m ・ ペナルティーマーク:8m(但し、正規のゴールの場合は 11mとする) ・ ペナルティーアークの半径:7m ・ センターサークルの半径:7m ・ コーナーアークの半径:1m ・ ゴールの大きさ:少年用ゴール。但し、会場により正規ゴールを使用する場合がある。 ・ 交代ゾーンはハーフラインより左右 3mずつの 6mとする。 <p>(3) ボールは普通5号球。</p> <p>(4) 競技者の数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8人(うち1名をゴールキーパー)とし、6人未満となった場合は試合を不成立とする。 ・ 出場選手8人のうち、(公財)日本サッカー協会未登録選手が常時 1 名以上出場していること。 ・ 交代要員の数:17名以内 ・ 交代を行うことができる数:自由な交代とし、再交代を適用する。(一度退いた競技者も再び出場でき、何回でも交代可能とする) <p>(5) 登録選手全員が必ずプレーする機会を得る事</p> <p>(6) 審判員は1人制とするが、第4審判員及び補助審判員を各1名置くこととする。</p> |

- (7) その他は、2026／27年（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
- 11 競技方法
- (1) 3チームずつの2ブロックによる総当たりを行い、両ブロックの同順位同士の順位決定戦を行う。
- (2) グループリーグ戦は、勝ち3点、引分け1点、負け0点により、勝ち点の多い順に順位を決定する。なお、勝ち点が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
- I 全試合の得失点差（総得点－総失点）
- II 全試合の総得点
- III 当該チーム同士の対戦成績（勝敗）
- IV コイントス
- (3) ノックアウト方式により同点となった場合には、3名によるPK戦により決定する。3名で決着しない場合は、少ない人数のチームに合わせた上、サドンデス方式とする。
- (4) 試合時間は各部門とも30分（15分ハーフ、休憩は原則として5分間）とする。
- (5) 参加状況によっては、大会方式や試合時間の変更及び部門を統合する場合がある。
- 12 懲 罰
- (1) 本大会は、（公財）日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
- (2) 大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- (3) 本大会は、（公財）日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
- 13 参 加 申 込
- (1) 参加申込書の登録選手数は25名までとする。
- (2) 申込締切日 2026年9月25日（金）17時必着
- (3) 大会参加料 10,000円（税込）…下記(5)③の指定口座まで納入。
- (4) 参加するチームは所定の参加申込書及びプライバシーポリシー同意書を、下記(5)①及び②にEメールにて送付すること。
- (5) ①（公財）北海道サッカー協会
〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41
北海道フットボールセンター
Eメール：hkfa-taikai@wind.ocn.ne.jp
TEL:011-825-1100 FAX:011-825-1101
●参加申込書
●プライバシーポリシー同意書
- ②北海道シニアサッカー連盟 事務局長 伊東美智子
Eメール：smrs-ito@taupe.plala.or.jp
TEL:090-3778-4706 FAX:011-778-9761
●参加申込書
- ③大会参加料振込先
北洋銀行 本店営業部 （普）5278500
口座名 北海道シニアサッカー連盟 大会申込口
- 14 組 合 せ
- (1) （公財）北海道サッカー協会において厳正なる抽選を行う。
- (2) 組合せ結果は（公財）北海道サッカー協会 HP「大会情報→シニア」で確認する事。<https://www.hfa-dream.or.jp/>
- 15 ユニフォーム及び選手の用具
- (1) フィールドプレーヤー及びゴールキーパーは、本競技会に登録したユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、着用することを原則とする。ビブス等も可とする（運営本部でビブスの貸出も行う）。
- (2) ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- (3) ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレー

ヤーと同系色でも良いものとする。

- (4) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用する判別しやすい組み合わせのユニフォームをビブス等も含めて決定する。

16 選手登録
変更

選手の登録変更は、2026 年 10 月 2 日(金)17 時まで、に、所定の変更届とともに変更後の参加申込書に記載し、E メールにて 13(5)①②に届け出ること。

17 監督会議

実施しない。競技上及び運営上の連絡事項は、主催者又は主管者から各チームへ事前に通知する。

18 開会式

実施しない。

19 閉会式

期 日： 2026 年 10 月 11 日(日)終了後に各会場で行なう。

20 選手証

- (1) (公財)日本サッカー協会登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を、13(5)②に下記期日までに E メールにて事前提出することを基本とする。選手証は、顔写真添付及び背番号を入力し、背番号順に並べた一覧表形式の PDF を基本とするが、一覧表形式での提出が難しい場合はこの限りではない。また、E メールによる事前提出が難しい場合は、当日持参も認める。

※選手証とは WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはパソコンやスマートフォンの画面に表示したものを示す。

(公財)日本サッカー協会未登録選手は、本人確認ができる運転免許証などの PDF を 13(5)②に下記期日までに E メールにて事前提出することを基本とする。

また、E メールによる事前提出が難しい場合は、当日持参も認める。

本人確認が確認できない場合は試合に出場できない。

- (2) 提出締切日 2026 年 10 月 2 日(金)17 時必着

21 負傷及び
事故の責任

大会期間中の負傷及び事故の責任は当該チームが負うものとする。また、医師及び救急用品の準備は各チームの責任において行うこと。

22 その他

- (1) 大会参加者及び関係者は、自己責任のもと自身の健康状態には特に留意し、必要に応じて事前に医師の診断を受けるなど、大会参加に支障のないことを確認すること。特に高血圧は突然死の原因である心疾患や脳血管疾患のリスクが高まることから、血圧が 180/110mmHg(家庭血圧 160/100mmHg)以上の場合は血圧をコントロールすること。また、参加チームは、参加選手の持病・内服薬・緊急連絡先などを記載した健康調査票を持参し、受付時に会場運営責任者の確認を受けた後、大会期間中はチームで管理すること。
- (2) 本大会要項に規定されていない事項が発生した場合には、北海道シニアサッカー連盟において協議のうえ、決定する。
- (3) 大会参加にあたって、各チームはスポーツ傷害保険等の加入手続きを済ませること。
- (4) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、当運営委員会において協議のうえ、対処する。中断・中止・延期することがある。
- (5) 眼鏡：プラスチックまたは、類似の素材でできた最近のスポーツメガネ以外は認めない。さらにフレームレス及び脱落する可能性があると審判が判断した眼鏡は認めない。

以上